

| 表彰結果 | テーブルNo. | エントリーNo. | 都道府県 | 河川名 | 水系 | 所属 | 賞名 |
|--------------|---------|----------|------|--|------------|---|---|
| グランプリ | A | 3 | 201 | 福島県 ふくしまけん だてし しゅ かせん ちしよう 福島県伊達市を主とした河川・池沼 | | NPO法人環境ワーキンググループ伊達 | 川の水質調査を20年、その知恵と努力の結果透視度を 目で見て安心を伝えたで賞 |
| 準グランプリ | C | 6 | 101 | 北海道 ゆうぼりがわ 夕張川 | 石狩川 | 河川愛護団体リバーネット21ながめま | 命を守る訓練で、水に学び親しみま賞 |
| | F | 5 | 404 | 新潟県 か も こ 加茂湖 | | 佐渡島加茂湖水系再生研究所(カモケン) | 市民工事は佐渡からトキのように全国に舞うで賞 |
| 入賞 | B | 2 | 306 | 東京都 ぜんぶくじかわ 善福寺川 | 荒川 | 善福寺川を里川にカエル会(善福蛙) | 遊び心たっぷりのオシャレな川づくりに皆がふりカエルで賞 |
| | C | 1 | 504 | 滋賀県 びわこ 琵琶湖 | 琵琶湖・淀川 | アイキッズ～エコアイデアキッズびわ湖～ | 琵琶湖のめぐみの食文化、美味しく伝え広げま賞(しよう) |
| | D | 1 | 606 | 岡山県 あさひがわ 旭川 | 旭川 | 旭川流域(りゅういき)ネットワーク | リヤカーが川と人を結びつけるで賞 |
| | E | 4 | 303 | 神奈川県 けいひんりんかい ぶ 京浜臨海部 | | トンボはドコまで飛ぶかフォーラム | 大人の夢を子供達へトンボがきつとつなぐで賞 |
| | E | 6 | 503 | 大阪府 あつたがわ 芥川 | 淀川 | 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク | 生き物目線の川づくり 魚も喜んでいるで賞 |
| | F | 6 | 802 | 長崎 そのぎがわ 彼杵川 | 彼杵川 | 東彼杵清流会 | つながりを求める優しさがスナメリにも伝わるで賞 |
| 入選 | A | 2 | 305 | 神奈川県 ひきちがわ 引地川 | 引地川 | 柳とあそぼう引地川 | 守って育てて20年、市民の努力に自然が応えてくれるで賞 |
| | A | 4 | 302 | 埼玉県 おやまがわ 小山川 | 利根川 | 早稲田大学本庄高等学院 | 多様な連携と水生生物研究活動は 学校教育の垣根を越えて世界に貢献する人材を育てるで賞 |
| | B | 6 | 304 | 東京都 えどじょうそとぼり 江戸城外濠 | | 外濠市民塾実行委員会 | 市民・産官学の4者連携がオリンピックまでに大化けしそうで賞 |
| | C | 4 | 301 | 埼玉県 とねがわ 利根川 | 利根川 | 埼玉共第九号地区運営委員会 | 鮭を守り、命のつながりを共に感じ育みま賞 |
| | D | 2 | 502 | 大阪府 よどがわ ねやがわ 淀川・寝屋川 | 琵琶湖・淀川 | 摂南大学 エコシビル部 | 楽しい繋がりが優秀な土木技術者を育てるで賞 |
| | D | 3 | 805 | 宮崎県 ほうりがわ 祝子川 | 五ヶ瀬川 | 宮崎県立延岡工業高等学校 | 伝統技術の継承が未来の土木技術者を育てるで賞 |
| | D | 6 | 402 | 愛知県 やはぎがわ 矢作川 | 矢作川 | 矢作川流域圏懇談会 | 水と人が山・川・海の流域を繋ぐで賞 |
| | F | 4 | 806 | 福岡県 おんががわ 遠賀川 | 遠賀川 | 国土交通省 九州地方整備局 遠賀川河川事務所 | 川と海をつなぐ自然のような魚道は最も魚が喜ぶで賞 |
| 森清和賞 | A | 6 | 309 | 全国 にほんぜんこく かわ 日本全国の川 | 109水系 | 筑波大学白川研究室『川と人』ゼミ 坂本 貴啓 | |
| 広松賞 | | | | 岡山県 旭川・白賀川・百閒川・足守川・児 島湾・瀬戸内海・大野川・玉柏子ど もの水辺の広場・吉井川 | 旭川・ 吉井川 | 岡山県下7団体(旭川源流大学実行委員会・関西高校理学部・ 御津の「みどり」と「清流」を守る会・岡山野生生物調査会・旭川流域ネットワーク ・玉柏こどもの水辺運営協議会・岡山市立西大寺公民館くらしと環境を考える会) | |
| “いい川” 技術賞 | F | 4 | 806 | 福岡県 おんががわ 遠賀川 | 遠賀川 | 国土交通省 九州地方整備局 遠賀川河川事務所 | |
| | F | 2 | 801 | 佐賀県 ありあけかい 本状江川(有明海) | | 佐賀市上下水道局 下水浄化センター | |

*「入賞」は公開討論会(最終選考)まで残ったグループ、「入選」はテーブル選考からの推薦または復活選考で全体選考に上がったグループ

*今回は、テーブル選考のテーブルコーディネーターの方々が中心になり、担当した団体それぞれのいい川・いい川づくりのキーワードを呈した賞名を考えてくださいました。